ハーブを楽しむ 品川区立中延保育園(東京都品川区)

ハーブを楽しむことで、〈香る〉(長時間保育の中で、アロマを香らせた時間と空間を設定しその中で心身を癒 す。) <調べる> (不思議と感じた事を知ろうとする意欲を大切にする。) <作る> (育て、収穫したものに手を 加える事で、変化する事を経験する中で、好奇心、探究心、創造性を育む。) <育てる > (・成長する過程を楽 しむ。・育てる為の根気強さ・生き物を大切にする優しさ。・収穫する喜び) <食する > (育て、収穫したものが 身近な食品に変化する事を喜び、様々な味や調理法を経験する。)経験をし、「科学する心」が育まれると考えた。 (実践事例集 vol.4 の 16~17 ページの事例参照)

事例 < 香る >

- 昼寝の時「今日はラベンダーだけじゃないね~」 「いいにおいね…」「いいね~」と話題になる。
- ペパーミントのオイルを溶かしたエタノールを 入れた水で足を洗う時に「スースするね匂うね」 「気持ちいいよ!」とやりとりをする。

生のハーブと乾いたハーブでは匂いや混ぜ方混ざり方が 違うことを感じ、友達とやりとりをしながらやってみる。 ・ ハーブを粘土に混ぜて作り、紙粘土が茶色になった時、友 達の作品を見たり生のハーブと乾燥したハーブでどうし て色が付くのかやってみたり、ハーブの本を見たりして、





匂い・香り・味という見えないもの なので、やり取りをして確かめる姿 が引き出される。

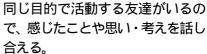


- 例 < 作る > (石鹸作り)

友達と確かめる。

事例 <調べる > (紙粘土製作)

- 何のハーブで石鹸を作るか友達と相談する。
- 石鹸作りには力がいるので、友達と協力して作る。
- ・ 匂いや触った感覚など、感じたことや思ったことを 言い合って作る。



事例<育てる>

- 耕す時に、土の固さや見つけたものなど 気付いたことを友達とやりとりする。
- ・ 苗を植える時や水をあげる時、友達とや り方を確認したり生長を期待したりす るやりとりをする。





事例<食する>

- ・ ペパーミントの葉の匂いやハーブティーにした香りを嗅 ぎ、感じたことをやりとりする。
- ハーブティーを味わい、思ったことをやりとりする。

作品ができる喜び、作り上げて使 う喜び、育てて生長を喜んだり遊 びに活かしたりする喜びを、友達 と共感できる。

また、思うようにならない葛藤や 課題を乗り越える思いを、友達と 共有できる。

みどころ

きれいな花や実は誰にでも魅力的ですが、子どもたちは葉をとって匂いを嗅いだりちぎったりもんだりし て遊びに使い楽しむ姿がよく見られます。そのためこの園の子どもたちにとって、自分たちで育てているハ ーブは、生活や遊びに日常的に取り入れて活動する大切な教材です。さらに「自分たちの園だからできる」 という思いがあるので、ハーブを使って行う活動は共通の話題になり、発見も疑問も、課題も喜びも共有さ れています。また、匂いといった見えない感覚を言葉で伝え合うことが、快感・喜び、葛藤など様々な場面 でも思いや考えを伝え合うことにつながり、「共感」に結びついています。